

# 湯河原ロータリークラブ



## WEEKLY REPORT

心の中を見つめよう  
博愛を広げるために

第 2415回 例会

平成23年9月9日(金)

天候 晴

合唱 我等の生業

四つのテスト

会 長 伊藤 伸之

幹 事 望月 博文

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町土肥 1-14-25

中川方 TEL/FAX 0465(62)3056

例会場 静岡県熱海市泉 107/TEL0465(63)3721

ニューウェルシティ湯河原

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

### 会長挨拶

10月に開かれる地区大会で賛否投票の件について地区事務局から連絡がありました。2013年RI規定審議会に提出する案件5件です。1番目が小田原クラブからで「R財団の補助金・奨学金プログラムの無資格者」の件。2番目が茅ヶ崎湘南クラブからで「ロータリーの綱領第2項の職業奉仕」の件。3番目が同じく茅ヶ崎湘南クラブからで「ロータリーの綱領」の件。第4番目が地区からで「ロータリーの広報」の件。5番目が「大和中央の会員身分」の件。以上5件です。賛否投票をしなければいけないのですが、会員皆様方の意見を聞かせて頂いた後決めたいと思います。反対意見がありましたら来週の例会までに事務局にご連絡して下さい。無ければ賛成の投票となります。

### スマイルBOX

なし

出席報告	ゲスト及びビジター 0名		
	会員 27名	欠席 4(3)名	出席率 95.83%
	前回の修正出席率 96.00%		前々回の修正出席率 95.38%

### 幹事報告

ガバナー

1. 2011年地区協議会報告書のCD

2. 地区大会選挙人会開催

10/15(土) 9:30 開始 10:00

場所 メルキュールホテル横須賀「パリ」

雑件

1. 石田浩二君の歓迎会を9/16 pm7:00より「みなみ」にて開催 会費4000

### 卓話

神谷一博君

「カルヤン・パネルジー2011~12R I 会長の話」

1972「インド・バピ」ロータリークラブ入会

インド工科大学で化学工学の学位を取得する。

現在、インドで最大手の農薬メーカーの一つの理事。

1980~81 第306地区ガバナー就任

1995~97R I 理事

2001~05 財団管理委員

2011~12R I 会長

夫妻には2人の子供と4人の孫



カルヤン・バネルジー会長の言葉

☆人生は単純です。それを難しくするのが人間です。  
☆良いロータリアンになろうとしたのです。一つのことはまた次のところへつながっていくものだと思います。

☆「心の中を見つめよう。博愛を広げるために」  
自分自身のことをもっとよく知ればより大きなことを成し遂げることが出来ます。しかし世界の平和を求める前に自分の平和を求めることです。

☆バネルジー R I 会長は謙虚だといわれていますが、いわく謙虚さとは、強さの要素であると思います。強い人だけが謙虚になることが出来るのです。ガンジー・キング牧師等です。彼等は私の模範です。

☆インドの古い言い伝えがあります。

「あなたが隣人の舟が川を渡るのを助けた時、自らも向こう岸に付いたことに気づく・・・」  
他人を助けることによって、私たちは、しばしば自分自身も助けられていることに気が付く、ということなのです。

カルヤン・バネルジー R I 会長の言葉が大変参考になります。

本年度のロータリー活動が楽しみになりました。

カルヤン・バネルジー

## 若い会員を連れてくる

私たちは2011-12年度の色をもっています。そして、その色は緑です。なぜ緑なのでしょう？ 緑は新しい命の色、広がった枝からぱっと開く鮮やかな葉の色だからです。ロータリーにとって今が緑の時期であることには疑いもありません。そして、私たちの深まりゆく青みがかかった灰色から、もっと明るい色合いの緑に置き換えるのです。

## 若い会員を連れてくる

全体として見てみると、40歳以下は11%にすぎず、それに対して50歳以上が68%、60歳以上が39%です。今、私たちが手をこまねいていると、10年後、20年後、そして30年後にどのような結果ををもたらすことになるかは明白です。単に、新会員を入れるだけでは十分だとは言えません。私たちには、私たちの組織に新しい生命や活力を吹き込む、より若い会員を連れてくる必要があるのです。

私たちが若い人たちにとって、より魅力的になるにはどうしたらいいのでしょうか。彼らは一世代、あるいは二世代前の専門職が若かったころとは多くの点でかなり異なっています。そのためには、私たち自身が彼らに歩み寄らなければなりません。多くの若い世代、彼らの居場所はインターネット、フェイスブック、ツイッター、Eメール、それにスマートフォン上です。

インターネット上に存在しないクラブは、若い世代に関する限り存在しないといっても過言ではありません。クラブのウェブサイトは公の顔なので、それは質の良いものでなければなりません。

ロータリーの家族というアイデアに立ち返る

何にも増して、私たちはロータリーの家族というアイデアに立ち返る必要がある、と私は信じています。ロータリアン、その家族、ローターアクターやインターアクター、青少年交換学生やその経験者、ロータリー財団学友など、私たちはロータリー全体を一つの家族として見る必要があります。私たちは、ロータリアンだけではなく、すべてのロータリー家族の維持について考える必要があるのです。

新会員を見つけるのに、私たちは外部に目を向けて、声をかけてくるのを待っている私たちの若い世代に、目を向けないことがよくあります。私たちは、将来のクラブ会長やガバナー、そして国際ロータリーのシニアリーダーとなり得る、有能で情熱をもった新会員を見つけるつもりで、若い世代を見なければなりません。

私たちは、過去、現在、未来のロータリー家族に責任があります。私たちの世代のロータリアンが最後ではないのです。

私たちは本当の意味で、私たちのロータリーの家族を受け入れるために手を差し伸べなければなりません。そうすることで、より博愛を広めることができるのです。

2011-12年度 国際ロータリー会長  
カルヤン・バネルジー